

隊

四年

画数 12
筆順
オン
フン

隊 附隊 隊

成り立ち



「がけ」の形を表した「目」と、「かりの家」という意味の「隊」とを組み合わせて作った字です。

むかしの「軍隊」は、てきのせめにくい「がけ」に「陣」（軍隊の止まっている所。「陣」という字は、「がけ」と「戦車」とを組み合わせて作った字です）を取り、間に合わせの家を作りました。それで、「目」と「隊」とで「軍隊」の意味を表したものです。「兵士の集団（まとまりのある集まり）」を表した字です。【例】軍隊、連隊、艦隊、部隊。また、兵士にかぎらず、「まとまりのある集まり」の意味に使います。【例】隊商、楽隊。

「隊は「崖から家（いのしし）」が「墜ちる」のが本義の字で、「墜」の本字である。」

使い方

▽ぼくたちは、仲間で楽隊をつくりました。笛や太鼓やハーモニカを鳴らしながら、隊列を組んで歩きました。見ている人は、びっくりしたり、おもしろがったり。ぼくたちも、とてもゆかいでした。

熟語例

- ▽軍隊（兵士の集団）
- ▽連隊（軍隊の組織の一つで、ふつうは三つの大隊を合わせたもの）
- ▽艦隊（いくつかの軍艦で組織された部隊）
- ▽部隊（軍隊の中の一単位。また、なにかのために組織された集団のこともいいます。「買い出し部隊に加わった」などというふうに、つかいます。）
- ▽隊商（まとまって集団をつくり、砂漠などを旅する商人。キャラバン）
- ▽楽隊（楽器を演奏する人々の集まり）
- ▽編隊（飛行機などがまとまって飛んでいるもの。「自衛隊の練習機がみごとな編隊を組んで飛行演習をしていた」などというふうに、つかいます。）

使い方

▽わたしは、字を書くのがへたでしたが、このごろはだいぶ上達しました。友だちの中には、ずいぶんきれいな字を書く人がいます。わたしも今に達筆といわれるような字が書けたらいいと思います。

熟語例

- ▽到達（目的地に行き着くこと。「山の頂上に到達すると、ちょうど朝日が登ってくるころでした」などというふうに、つかいます。）
- ▽配達（郵便や品物などを、目的の家まで届けること。）
- ▽栄達（高い地位にのぼるといふ目的をはたすこと。）
- ▽上達（すぐれたうでまえになること。「練習をすれば、すぐ上達する」などというふうに、つかいます。）
- ▽達人（あることに、とくにすぐれた人）
- ▽達筆（字を書くことが非常にうまいこと。また、そういう字やそういう人のこと。）

達

四年

画数 12
筆順
オン
フン

達 幸達

成り立ち



「大」と「羊」とを組み合わせて作った「幸」は、「美（年403）」と同じ作り方の字で、「りっぱ」という意味の字です。「」は、「道を進む」ことを表した字ですから、「達」は、「道を通りつぱに歩き通す」ことを表した字で、「目的の地に行き着く」ことを表したものです。【例】到達、配達。

「目的をはたす」という意味にも使われます。【例】達成、栄達。

また、「物事にとくにすぐれる」という意味にも使われます。【例】上達、達人、達筆、練達、達観。